

災害多言語支援センター とは？

おおじしん さいがい ほっせい さい にほんご じゅうぶんりかい ぎょうせいきかんなど ほっしん
大地震などの災害が発生した際に、日本語が十分理解できないために行政機関等が発信する

じょうほう え さいがいけいけん すく げんいん せいしんてき ふあん かか
情報を得ることができない、また災害経験が少ないことが原因で精神的な不安を抱えている

がいこくじんじゅうみん しえん たげんご さいがい かか じょうほうていきょう しゅだん
外国人住民を支援するために**多言語での災害に係る情報提供**を手段として、
(英語・中国語・韓国語など・・・)



とど
を届けます。

おお さいがい とき がいこくじん
大きな災害の時、外国人には・・・



にほんご さいがいじょうほう つた
・日本語での災害情報が伝わりづらい

→ 何が起きているのかわからない、避難が遅れる、避難所での日本語の情報がわからない

にほん せいかつ ふな しゅうかん
・日本の生活に不慣れだったり、習慣がわからなかったりする

→ 避難所生活でトラブルが生じることがある

など がいこくじんとくゆう もんだい しょう
外国人特有の問題が生じることがあります。



緊急的に

さいがいたげんごしえんせんたー たあ
「災害多言語支援センター」を立ち上げます。

ひさいち しょうそんおよ しまねけん きょうどう せっち
被災地の市町村及び島根県が協働で設置し、
こくさいせんたーなど うんえい そうてい
しまね国際センター等による運営を想定。
ひさいじょうきょう か ばあい
被災状況により変わる場合もあります。

さぽーたー など ぼらんていあ きょうりよく え かつどう
サポーターなどボランティアの協力を得ながら活動し、
ほんやく つうやく がいこくじん じょうほう あんしん とど
翻訳や通訳をとおして外国人へ情報と安心を届けます。

さいがいたげんごしえんせんたー なに
災害多言語支援センターとは何をするとところ？

- ぎょうせいきかんなどほっしん さいがいじょうほう たげんご ほんやく がいこくじん とど
行政機関等が発信する災害情報を、多言語に翻訳して外国人に届ける
- ひなんじょ じゅんかい がいこくじん じょうきょう はあく
避難所を巡回して、外国人の状況を把握。

に ーず せんべつ ひつよう じょうほう たげんごか がいこくじん とど
ニーズを選別し、必要な情報を多言語化して外国人に届ける。

やさしいにほんご・・・は、

易（やさ）しいにほんご／優（やさ）しいにほんご

ほんやく つうやく
翻訳や通訳がないときは・・・

やさしい日本語を使ってみよう！

にほんご じょうほう にほんご にほんご か
日本語の情報を「やさしい日本語」(わかりやすくした日本語)に替えるだけでも、

じょうほう つた ひごろ
情報は伝わる場合があります。日頃からやってみましょう！

がいこくじん こ こうれいしゃ
外国人だけでなく、子どもや高齢者にもわかりやすくなります。

たとえば・・・ 普段（ふだん）の生活（せいかつ）でも使（つか）ってみよう！

じゅうぶんちゅうい よ ちゅうい
・ 十分注意してほしいと呼びかけています → これからも注意してください

けいたいでんわ つうわ えんりょ けいたいでんわ はなし
・ 携帯電話での通話をご遠慮ください → 携帯電話で話をしないでください

どそくげんきん くつ ぬ
・ 土足厳禁 → ここで靴を脱いでください

よしん ちい じしん なんと おお じしん
・ 余震があります → 小さい地震が何度もあります／これから大きい地震が
おこるかもしれません

「やさしい日本語」に
せいかい
正解はありません・・・ (^_^)v



財団法人しまね国際センター 【www.sic-info.org】

本 所：松江市殿町8-3 タウンプラザしまね3F

Tel 0852-31-5056

西部支所：浜田市熱田町2135-2 浜田ポートセンター内

Tel 0855-24-7456